



Title	意匠学会会報 No.64/総合報告/大会報告/一般会務報告/研究例会
Author(s)	
Citation	デザイン理論. 2008, 53, p. 134-140
Version Type	VoR
URL	<a href="https://doi.org/10.18910/53455">https://doi.org/10.18910/53455</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

## 総会報告

第50回総会（平成20年7月20日、於京都造形芸術大学）において、平成19年度収支決算、平成20年度予算案（修正）、および平成21年度予算案が提出され、了承されました。

### 平成19年度 収支決算

（平成20年7月20日承認）

収入の部		支出の部	
前年度よりの繰越金	5,286,816	『デザイン理論』編集費	80,000
会員会費	2,702,000	『デザイン理論』印刷費	1,197,000
正会員	8,000×334=2,672,000	例会費	40,000
学生会員	4,000×0=0	学会賞等奨励金	100,000
法人会員	15,000×2=30,000	ホームページ作成・維持費	100,000
雑収入	3,000	大会補助費	150,000
計	7,991,816	会報印刷費	0
		封筒印刷費	26,000
		その他印刷費	14,000
		通信費（以下内訳）	444,000
		送料	320,000
		ハガキ代	100,000
		ハガキ印刷代	24,000
		事務費	5,000
		運営費	360,000
		芸閲連会費	15,000
		旅費	0
		予備費	50,000
		次期繰越金	5,410,816
		総計	7,991,816

平成20年度  
予算案(当初)

(平成19年11月10日承認)

収入の部		支出の部	
前年度よりの継越金	5,410,816	『デザイン理論』編集費	80,000
会員会費	2,702,000	『デザイン理論』印刷費	1,200,000
正会員 8,000×334=2,672,000		例会費	40,000
学生会員 4,000×0=0		学会賞等奨励金	200,000
法人会員 15,000×2=30,000		ホームページ作成・維持費	100,000
		大会補助費	150,000
		会報印刷費	0
		封筒印刷費	20,000
		その他印刷費	10,000
		通信費(以下内訳)	400,000
		送料	280,000
		ハガキ代	100,000
		ハガキ印刷代	20,000
雑収入	30,000	事務費	5,000
		運営費	350,000
		芸閲連会費	15,000
		旅費	0
		予備費	50,000
		次期継越金	5,467,816
計	8,142,816	総計	8,142,816

平成20年度  
予算案(修正)

(平成20年7月20日承認)

収入の部		支出の部	
前年度よりの継越金	5,405,499	『デザイン理論』編集費	80,000
会員会費	2,718,000	『デザイン理論』印刷費	1,500,000
		例会費	40,000
		ホームページ作成・維持費	100,000
		大会補助費	150,000
		会報印刷費	0
		学会賞等奨励金	0
		事務費	5,000
		芸閲連会費	15,000
		旅費	0
雑収入	30,000	予備費	50,000
		学会支援センター委託料	A + B 580,000
		次期継越金	5,633,499
計	8,153,499	総計	8,153,499

平成21年度  
予算案

(平成20年7月20日承認)

収入の部		支出の部	
前年度よりの継越金	5,633,499	『デザイン理論』編集費	80,000
会員会費	2,718,000	『デザイン理論』印刷費	1,200,000
		例会費	40,000
		ホームページ作成・維持費	100,000
		大会補助費	150,000
		分科会費	10,000
		学会賞等奨励金	100,000
		創立50周年記念事業費	200,000
		事務費	10,000
		芸閲連会費	15,000
		旅費	0
雑収入	0	予備費	50,000
		学会支援センター委託料	A + B 580,000
		次期継越金	5,816,499
計	8,351,499	総計	8,351,499

## 大会報告

第50回大会は、平成20年7月19日（土）と20日（日）の2日間、京都造形芸術大学において開催されました。2日間の参加者は、会員78名、一般7名、学生16名、計101名でした。詳細は以下のとおりです。

大会メイン会場：京都造形芸術大学瓜生山キャンパス望天館B-11  
パネル発表会場：京都造形芸術大学瓜生山キャンパス未来館F-100

第1日（7月19日）プログラム

開会式 10:00～

開会宣言 意匠学会会長 藤田 治彦（大阪大学）

開催校挨拶 京都造形芸術大学大学院長 浅田 彰

研究発表 10:10～12:10（発表各40分）

1. ニューヨークにおける高峰譲吉自邸の建設経緯と室内意匠  
玉田 浩之（京都工芸纖維大学）

2. ダダ・シュルレアリスムにおけるマネキンの諸相  
蘆田 裕史（京都大学大学院博士後期課程）

3. 明治以降創建の神宮における空間デザインについて  
浦崎 真一（大阪芸術大学大学院）

昼食休憩 12:10～13:30

研究発表 13:30～15:30（発表各40分）

4. 子どものためのデザイン表現に関する考察——村山知義の童画を例に——  
神野 由紀（関東学院大学）

5. モンゴル語デジタルフォントの合字に関する研究  
牛力格巴图

6. ウィリアム・モリスのパターンデザイン——秩序による調整についての考察——  
新谷 式子（関西大学大学院博士課程前期課程）

パネル発表懇談会 15:50～17:20

1. デジタル映像による色彩と抽象表現の研究  
赤阪季与子

2. パッケージとしての展覧会 「美術館に行こう！——ディック・ブルーナに学ぶモダン・アートの楽しみ方——」からの事例  
今井 美樹（大阪工業大学）

3. 地域と時代のアイデンティティーをめざして～神戸ビエンナーレ2007・プロジェクトの構想と実践～  
大森 正夫（京都嵯峨芸術大学）

4. 一本の帯状（リボン状）の素材を用いた造形の研究  
金 相熙（京都工芸纖維大学大学院博士後期課程）

5. 紙衣和紙による衣服造形  
定延久美子（大阪樟蔭女子大学）

6. ブック・アート：和綴じ豆本「布象嵌」・鬼本「かぞえうた」  
福本 繁樹（大阪芸術大学）

7. Layer & Integration  
松村 由紀（京都工芸纖維大学大学院博士後期課程）

8. 「隙」のある表現のための照明制作と作品群  
籐 晶子（大阪芸術大学大学院博士課程）

9. 眼の記録  
山口 良臣（名古屋市立大学大学院）

懇親会 17:30～19:30

第2日目（7月20日）プログラム

研究発表 10:00～12:00（発表各40分）

1. シェーカーの家具の今日的意義 デザイン史上の位置づけ

- 石川 義宗（東洋美術学校）  
 2. 総合芸術の夢 —— ジャンルの解体・横断・混交 ——  
 三木 順子（京都工芸繊維大学）  
 3. 『討入り』の意匠 —— 映画『元禄忠臣蔵』の場合 ——  
 吉田 拓（京都造形芸術大学）

意匠学会第50回総会 13:20 ~ 14:10

- シンポジウム 14:20 ~ 16:20  
 「デザイン研究の昨日・今日・明日」  
 パネリスト：  
 東北におけるデザイン研究と支援 —— 地域振興との関係において ——  
 吉村 典子（宮城学院女子大学）  
 グラフィックデザインとタイプグラフィにおけるデザインと研究  
 伊原 久裕（九州大学大学院）  
 『デザイン理論』の現況と課題  
 梅宮 弘光（神戸大学大学院）  
 進行：  
 佐藤 博一（京都造形芸術大学）

閉会式

- 閉会挨拶 意匠学会会長 藤田 治彦（大阪大学）

## 研究例会

第195回研究例会  
 平成20年5月17日（土）  
 於 京都女子大学

1. Gae Aulentiにおける『建築内空間』  
 ——Italy: The New Domestic Landscape  
 展を中心に ——  
 櫻間 裕子（大阪大学大学院）  
 2. 『班猫』寸描  
 榊原 吉郎

### 第196回研究例会

平成20年9月6日（土）  
 於 大阪芸術大学

1. リヒャルト・リーマーシュミットの家具デザイン  
 —— 有機的造形から幾何学的造形へ ——  
 三木 敬介（京都工芸繊維大学大学院博士後期課程）  
 2. 『岩波写真文庫』の写真レイアウトにおける組写真の在り方について  
 荒川美世子（大阪芸術大学大学院）

## 一般会務報告

### 平成20年度第1回役員会 議事録

日時：平成20年4月5日（土曜日）  
 13時より

会場：京都工芸繊維大学

出席者：藤田治彦、藪亭、渡辺眞、羽生清、太田喬夫、梅宮弘光、山口良臣、並木誠士、佐藤敬二、佐藤博一、今井美樹、島先京一、伊東徹夫、面矢慎介、三木順子、高井節子、要真理子、猪谷聰、谷本尚子

議題1. 平成19年度第5回役員会議事録が承認された。

議題2. 新委嘱委員・会計監査・幹事について、第一次案の別紙が配布され、新役員について承認された。専門委員については、次回に持ちこされた。

議題3. 本部局が現在の大阪大学から大阪人間科学大学へと移転することが承認された。事務局の移転、役員の決定等は、会報と学会ホームページで告知されることとなった。

議題4. 5月例会について、発表者1は榎原吉郎を確定した。発表者2については、未定。  
9月例会について、9月6日（土）、当番校は大阪芸術大学と確定した。  
11月例会について、11月22日（土）あるいは29日（土）、当番校は成安造形大学と確定した。  
2月例会について、当番校は、京都工芸繊維大学と確定した。

議題5. 平成20年度大会について、論文、パネル発表者等については、5月例会時に確定することとなった。現在確定している発表者と推薦者は次の通り。1. 玉田浩之（京都工芸繊維大学）、2. 神野由紀（関東学院大学）、3. 石川義宗（東洋美術学院）、4. 蘆田裕史（京都大学）、5. 浦崎真一（大阪芸術大学）、6. 畢力格巴圖（ビリガバド、京都市立芸術大学）、7. 三木順子（京都工芸繊維大学）、8. 新谷式子（関西大学）、9. 吉田拓（京都造形芸術大学）。

シンポジウムのテーマについては、「デザイン研究の昨日・今日・明日」（この15年のデザイン研究についての傾向について討議する）と確定した。パネル発表については、現在のところエントリーがないことが報告され、5月10日の締め切りまで待つこととなった。作品の学会賞について、パネル発表の作品が学会賞の対象となることを確認した（昨年度はパネル展示が少なかったので、受賞対象を決定しなかった）。論文賞も、大会開催時期の変更により、選考の時間がないので、今回に限り一年遅らせることになった。  
大会時期の変更に伴い、『デザイン理論』の発行時期の変更についても検討された（11月号に大会発表の論文が掲載される。学会賞の対象は5月掲載分を含む）。

議題6. 学会活性化ワーキング（仮称）が会長から提案された。学会を活発にしていく方向での活動が期待される。

議題7. 『デザイン理論』バックナンバーの保管状況について検討した。ハーヴァード大学が31号以降を購入したことが報告された。工芸繊維大学に保管されていた分のリストを会員が預かり、5月7日までに各大学の図書館等が引き取るか検討することとなった。

議題8. 各種委員会報告

広報委員会：

佐藤博一会員からウェブでの広報について、現状報告があった。

編集委員会：

渡辺委員から、春号の北斗プリントへの発注状況と、新たな編集委員会のメンバーは検討中であることが報告された。

学会賞選考委員会：

前年度の結果について、まだ選考結果が届いていないと報告された。

議題9. 分科会について；デザイン史分科会、被服分科会について報告があった。

議題10. 事務局より入会者6名、退会者1名について報告があり、承認された。

議題11. その他

大会開催校から、シンポジウム、基調講演について、会員以外の人物を呼ぶ場合、礼金を支払えるか質問があり、大会予算の範囲であれば、開催校の判断で可能と確認された。ただし会員については、遠方からの参加者でも交通費を出さないのが一般的との認識が確認された。

平成20年度第2回役員会 議事録

日時：平成20年5月17日（土）

12時より

会場：京都女子大学

出席者：藤田治彦、藪亨、渡辺眞、横川公子、羽生清、太田喬夫、梅宮弘光、並木誠士、佐藤敬二、佐藤博一、面矢慎介、山口良臣、今井美樹、伊東徹夫、三木

順子，要真理子，猪谷聰，谷本尚子

議題1. 第1回役員会議事録が確認された。

議題2. 平成19年度会計報告・会計監査報告について、委託センターの内容に監査の責任がもてないとの意見が監査報告から出された。現会計から、支援センターの収支明細をどのように報告するかについての議論がなされた。センターの明細を大会に報告する必要がないことが確認された。また、支援センターの請求が、平成19年4月～平成20年2月になってること、請求漏れが19年度分に入っていないことが報告された。

議題3. 来年度予算案について、請求された月で精算する、内訳は別紙を参照にして予算決算書を作る、配布は委員だけとし、会報に印刷する分は内訳なしでよいこと、昨年度分のサイン入りをPDFで役員に配布することが承認された。今年度分の見直しと、20年度の修正予算案と21年度の予算案を7月で出せるのか議論された。5月に修正予算案作成し、7月の大会で報告されることが承認された。3月末で決算を確定し、5月で平成20年度の修正予算案、21年度の予算案を確定し、7月の大会に提案されることが承認された。

議題4. 編集委員会から、『デザイン理論』春号について、ページ数が増えるので、予算を少しオーバーする可能性があること、予定通り発行されることが報告され、承認された。新編集委員メンバーはほぼ決定し、引継ぎが進んでいることが報告され、承認された。広報委員会から、ウェブサイトの更新は終了し、新しい組織運営体制が準備中であることが報告され、承認された。学会賞選考委員会から、論文賞選考委員は就任を承諾してもらっていること、細目は未定であること、去年の秋号と春号をあわせて選考することが報告され、承認された。また、作品賞の選考委員が決定したことが報告され、承認された。作品が集まっていることが報告された。作品賞につ

いて、次年度の予定は今後議論をすること、作品賞という名称の変更を大会の後で議論すること、今回の賞はないことが報告され、承認された。

議題5. 平成20年度大会（会場：京都造形芸術大学、担当：羽生清委員・佐藤博一委員）について、大会事務局から、プログラム案、参加費等が提示され、承認された。また、下記の発表者が確定された。

1. 玉田浩之（京都工芸繊維大学）、2. 神野由紀（関東学院大学）、3. 石川義宗（東洋美術学院）、4. 蘆田裕史（京都大学）、5. 浦崎真一（大阪芸術大学）、6. 毕力格巴圖（ビリガバド、京都市立芸術大学）、7. 三木順子（京都工芸繊維大学）、8. 新谷式子（関西大学）、9. 吉田拓（京都造形芸術大学）。

シンポジウムについて、テーマを「デザイン研究の昨日・今日・明日」とすること、司会進行（佐藤博一）、パネラー（吉村典子、伊原久裕、梅宮弘光）とすることが提案され、確定された。

議題6. 9月例会が、9月6日（土）に大阪芸術大学で開かれることが確定され、荒川美代子（大阪芸術大学大学院）、三木敬介（京都工芸繊維大学大学院）の2名の発表者が確定された。

議題7. 11月例会について、11月22日（土）または29日（土）に成安造形大学で開催されることになった。

議題8. 会則等の一部改訂について、藪副会長から、附則(2)を「本会の事務局は大阪人間科学大学内におく」と変更すること、また、役員の選出規定の文言を「名誉顧問は会員ではない。選挙権、被選挙権もない」と変更することが提案され、承認された。

議題9. 意匠学会創設50周年記念事業について議論されたが、次回役員会で引き続き議論す

ることになった。

議題10. 事務局より、新入会員8名、退会者2名について提案があり、承認された。

#### 平成20年度第3回役員会 議事録

日時：平成20年7月19日（土）

12時15分より

場所：京都造形芸術大学

出席者（五十音順）：

伊東徹夫、今井美樹、上羽陽子、梅宮弘光、  
太田喬夫、要真理子、佐藤敬二、佐藤博一、  
島先京一、高井節子、竹内幸絵、谷本尚子、  
並木誠士、羽生清、藤田治彦、藪亨、山口良臣、  
渡辺眞

議題1. 第2回役員会の議事録が一部修正の上承認された。

議題2. 事務局から第50回総会の議案資料が提案され、承認された。

議題3. 50周年記念事業のアイデアを明日に検討することになった。

#### 平成20年度第4回役員会 議事録

日時：平成20年7月20日（日）

12時15分より

場所：京都造形芸術大学

出席者（五十音順）：

伊東徹夫、今井美樹、上羽陽子、梅宮弘光、  
小宮容一、佐藤敬二、佐藤博一、高井節子、  
谷本尚子、並木誠士、羽生清、廣田孝、藤田治彦、  
三木順子、藪亨、山口良臣、横川公子、  
渡辺眞

議題1. 第50回総会について、委任状数が確認された。

議題2. 9月例会の発表者について、荒川美代子（大阪芸術大学大学院）、三木敬介（京都工芸繊維大学大学院）の2名であることが確認された。

議題3. 11月例会の発表者について、佐田明美（関西大学）と松村由紀（京都工芸繊維大学）が確定された。

議題4. 2月例会の当番校について、京都芸繊維大学と決定した。

議題5. 第51回大会について、当番校は大阪大学に決定した。同大学の中ノ島センターあるいは豊中キャンパスにて開催される予定となつた。

議題6. 創立50周年記念事業について。次のような提案がなされ、承認された。

- 1) デザイン理論の特集号、デザイン理論の展示を通じて学会組織、雑誌の歴史を振り返る。シンポジウムも開催する。
- 2) 会員自己紹介のパネルを作成する。
- 3) 「意匠学会；昨日、今日、明日」というテーマとする。
- 4) 「創立50周年記念事業」実行委員会を立ち上げる。

議題7. 編集委員会から、『デザイン理論』今期編集委員会の構成と53号の編集事務状況について報告があり検討された。50周年に合わせて表紙デザインの変更の検討が提案された。学会賞選考委員会から、「意匠学会賞、論文賞、作品賞に関する申し合わせ」が提出され、議論された。

会報担当連絡先

〒610-1197

京都市立芸術大学美術学部第3研究室

伊東徹夫 宛

TEL 075-334-2255 FAX 075-334-2255